



今月の編集は〈東京事務局〉 128号 400円

婦人の地位

—労働省婦人局発行資料より— 4

Nさんの勇気 桑原ちあ子... 3

フェミニストのための楽しい

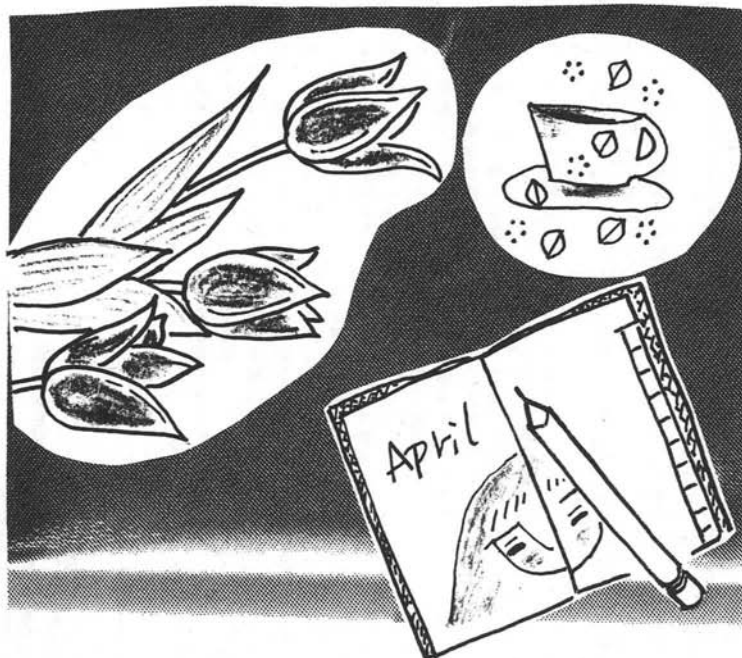
マンガ・映画・小説リスト... 後藤晶子... 9

原発についてどれだけ知っていますか

...タカハシヨシエ... 23

女の講座・女のつどい 2

あごらのあごら 27



女の講座・女のつどい



日	時	テ	ー	マ	主	催	者	会	場	・	連	絡	先
3月10日(木)	18:30	空を飛ぶブルトニウム陸を走る核燃料はこわいぞつ市民集会						日本教育会館8F会議室					
3月12日(土)	14:00	ウォーター・フロントの表と裏 東京湾開発へ土井たか子を支える会						真生会館					
3月12日(土)	14:30	労働法改「正」をめぐる一これからの女の働き方は?へあごら九州						福岡市立婦人会館					
3月13日(日)	16:30	へあごら札幌V3月例会 古典文学における女性差別 荻野京子						北一条西9丁目北海道ビジネスビル4F					
3月19日(土)	13:20	88婦人民主クラブ創立42周年記念 私たちの「昭和」を問う 古川佳子他						日本教育会館					
3月21日(月)	13:00	李政美ちいさなコンサート 韓国民衆歌キム・ミンギを歌う						東中野ボレボレ座					
3月25日(金)	13:30	第40回婦人週間記念東京婦人問題会議 マスコミからみた婦人週間40年						後楽園会館 大会議室					
3月26日(土)	13:00	♂はいやだ! 全国交流集会へ国家秘密法に反対する市民ネットワーク						全水道会館大会議室					
3月26日(土)	14:00	三井マリ子トークライブシリーズI 学校と遊ぶ 門野晴子						阿佐谷地域市民センター					
4月1日(金)	13:30	男女雇用均等法施行2周年集会						東京池之端文化センター					
4月2日(土)	13:00	反核ライブ						市ヶ谷 自治労第一会館					
4月9日(土)	13:13	婦人参政権行使記念の集いー各党の平和政策をきく						日本青年館3F国際会議場					
4月9日(土)	13:16	「反核燃の日」青森行動88						青森市六ヶ所村					
4月16日(土)	15:00	子宮がん検診について 産婦人科医 北川衣代						大阪ウーマンズヘルスセンター					
5月17日(火)	10:00	婦人週間40周年記念国会議 女性の能力や役割についての固定的な考え						中央合同庁舎第5号館26F					
4月23日(土)	13:30	みんなで語ろう! 原発をとめるためにいまやれることー一万人行動分散会						水道橋YMC Aアジア青年センター9F					
4月23日(土)	14:00	女たちのまつり! 反原発一万人行動につなぐ!						早稲田泰仕園スコットホール					

N さんの勇 気

私の仕事、自分の職場について書くことは難しい。自分の経験、感じていることなのだから、書くこと、思いはあふれるほどにありながら、このことを書いたら人間関係を悪くするのでは、職を失うことになるのでは、などなど、心配ばかりが先になる。

事実を書くのになんの遠慮がいるものか、と思うのは他人だからなのであろうか。多くの女は、パートも、人材派遣も、コース別も、正社員も、それぞれの立場で精いっぱい働いている。

職場の悩みも、家のぐちも、差別も、公にすることをばかりながら働いている。不満を公にする、公的機関に相談する、労組に話す、労組をつくる、集まりに出かけ訴えるなど、少しの行動も、女を勇気づけ、仲間ができることなのに。

嘆いてばかりいられない。

Nさん、輸入書籍を扱う書店の店長さん。語学も、人物も秀れているから店長の職責にあり、会社も民主的な書店であったから、女性を登用したと思う。けれども、彼女は次席の三歳年下の男性より、基本給で五万円低い差別賃金を受けていた。その事実を知るものも限られていたと思う。忍耐を重ね続けた彼女は、ついに行動した。六十歳定年三か月前に。

個人加盟の労組にかけこんだ。三か月という時間はあまりにも短い。仲間はみんな労働者。いったい何ができるのか。相談、団交、会議。そして、定年退社の一月三十一日がきた。その間、婦人相談室、労働委員会、とできる限りのことはやった。が、結果は是正もされなければ、せめて半年早ければという悔いと疲労が残った。Nさんの行動は無意味だったのか。否、否である。Nさんの勇気に、まわりの女たちが勇気づけられ、Nさんの知らないところで、行動する女を生んでいく。

(桑原ちゑ子)

婦人の地位



1988年1月

その1

労働省婦人局

88年1月に労働省婦人局より「婦人の地位」という刷子が出されました。内容は“女子労働者福祉対策基本方針”“西暦2000年に向けての新国内行動計画”等法律・制度に関するものです。婦人の地位に関するさまざまな資料もあり、みなさまの参考にしていただくよう抜粋を掲載します。

婦人の公職参加状況

国の段階における婦人の状況

国会における婦人議員数

区 分	国会議員数			衆議院議員			参議院議員		
	総 数	婦 人 議員数	婦 人 議員の 比 率	総 数	婦 人 議員数	婦 人 議員の 比 率	総 数	婦 人 議員数	婦 人 議員の 比 率
昭和62年10月	人 758	人 29	% 3.8	人 507	人 7	% 1.4	人 251	人 22	% 8.8

(衆議院・参議院各事務局調べ)

都道府県、指定都市等の段階における婦人の状況

地方議会における婦人議員

区 分	合 計	都道府県議会	市 議 会	町 村 議 会	特別区議会
総 数	68,266人	2,811人	19,599人	44,827人	1,029人
うち女子	1,154	39	632	404	79
女子の比率	1.7%	1.4%	3.2%	0.9%	7.7%

(注) 昭和61年12月31日現在(自治省選挙部調べ)

国家公務員の在職状況

① 国家公務員級別在職者数（行政職-）

区 分	計	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	9 級	10級	11級
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
総 数	235,736	23,308	24,964	45,237	46,182	23,098	35,537	14,155	16,743	3,493	1,634	1,385
男 子	201,514	18,930	20,770	33,670	38,006	19,796	33,316	13,974	16,576	3,476	1,625	1,375
女 子	34,222	4,378	4,194	11,567	8,176	3,302	2,221	181	167	17	9	10
女子の 比 率	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
	14.5	18.8	16.8	25.6	17.7	14.3	6.2	1.3	1.0	0.5	0.6	0.7

昭和61年3月31日現在、人事院「国家公務員任用状況調査報告」

② 裁 判 官 数

総 数			判事・簡易裁判所判事			判 事 補		
計	女 子	女子の比率	計	女 子	女子の比率	計	女 子	女子の比率
人	人	%	人	人	%	人	人	%
2808	110	3.9	2,199	56	2.5	609	54	8.9

昭和62年6月現在（最高裁判所調べ）

（参 考）女性が所長である裁判所（昭和62年6月1日現在）は次のとおりである。

札幌高等裁判所長官

野 田 愛 子（注・昭和62年12月1日辞職）

浦和家庭裁判所長

寺 澤 光 子

高知地方家庭裁判所長

丹 宗 朝 子

国立・公立学校の教員数及び登用状況

① 小学校、中学校、高等学校の教員数及び校長、教頭の数

区 分		小 学 校	中 学 校	高 等 学 校
学 校 数		24,765	10,633	4,208
教員 総数	計	446,160人	283,362人	213,199人
	男 子	193,716	184,950	174,567
	女 子	252,444	98,412	38,632
	女子の比率	56.6%	34.7%	18.1%
校 長	計	23,598人	10,157人	4,009人
	男 子	23,050	10,116	3,996
	女 子	548	41	13
	女子の比率	2.3%	0.4%	0.3%
教 頭	計	24,199人	11,064人	5,535人
	男 子	22,690	10,911	5,502
	女 子	1,509	153	33
	女子の比率	6.2%	1.4%	0.6%

② 大学、短期大学、高等専門学校の教員数及び学長、副学長、教授、助教授の数

区 分		大 学	短 大	高 専
学 校 数		132	91	58
教員 総数	計	58,299人	3,123人	3,652人
	男 子	54,876	2,055	3,618
	女 子	3,423	1,068	34
	女子の比率	5.9%	34.2%	0.9%
学 長	計	131人	46人	58人
	男 子	131	45	58
	女 子	0	1	0
	女子の比率	-%	2.2%	-%
副 学 長	計	44人	6人	/
	男 子	44	5	
	女 子	0	1	
	女子の比率	-%	16.7%	
教 授	計	17,119人	999人	1,290人
	男 子	16,721	834	1,287
	女 子	398	165	3
	女子の比率	2.3%	16.5%	0.2%
助 教 授	計	15,494人	1,038人	1,407人
	男 子	14,737	736	1,402
	女 子	757	302	5
	女子の比率	4.9%	29.1%	0.4%

昭和62年5月1日現在、文部省「学校基本調査速報」

女子公務員の採用状況（昭和61年度採用試験（一般行政職）の合格者・採用者）

区 分		都 道 府 県			指 定 都 市		
		計	うち女子	女子の比率	計	うち女子	女子の比率
上 級 (大学卒)	合格者	4,041	503	12.4	1,071	164	15.3
	採用者	3,278	399	12.2	896	154	17.2
中 級 (短大卒)	合格者	1,087	296	27.2	248	188	75.8
	採用者	784	214	27.3	226	178	78.8
初 級 (高校卒)	合格者	3,018	1,591	52.7	1,024	415	40.5
	採用者	2,180	1,178	54.0	822	321	39.1

(労働省調べ)

(注) 1 都道府県の中級については、該当21都道府県を集計したものである。

2 指定都市の中級については、該当7市を集計したものである。

女子公務員の登用状況

① 都道府県における管理職（本庁の課長相当職以上）の数

区 分	本 庁			支庁及び地方事務所		
	総 数	うち女子	女子の比率	総 数	うち女子	女子の比率
計	14,309人	141人	1.0%	18,134人	704人	3.9%
知事部局	9,100	127	1.4	14,555	673	4.6
教育委員会	1,160	12	1.0	1,619	17	1.1
そ の 他	4,049	2	0.0	1,960	14	0.7

(注) 1 昭和62年6月1日現在（労働省調べ）

2 本庁の「その他」については、議会議務局、各種行政委員会並びに警視庁又は道府県警察本部等であり、知事部局及び教育委員会を除くすべてを含む。

3 支庁及び地方事務所の「教育委員会」については、学校長、教頭は含まない。

指定都市における管理職（本庁の課長相当職以上）の数

区 分	本 庁			支庁及び地方事務所		
	総 数	うち女子	女子の比率	総 数	うち女子	女子の比率
計	5,341人	119人	2.2%	4,115人	180人	4.4%
市長部局	3,860	101	2.6	3,418	150	4.7
教育委員会	405	7	1.7	253	9	3.6
そ の 他	1,076	11	1.0	444	12	2.7

(注) 1 昭和62年6月1日現在（労働省調べ）

2 本庁の「その他」については、議会議務局、各種行政委員会、市警察本部及び消防本部等で、市長部局及び教育委員会を除くすべてを含む。

3 支庁及び出張所の「教育委員会」については、学校長、教頭は含まない。

委員会及び委員における婦人の選任状況（法律により設置されているもの - 地方自治法第180条の5参照）

区 分	都 道 府 県			指 定 都 市		
	委 員 数	うち女子	女子の比率	委 員 数	うち女子	女子の比率
教 育 委 員 会	235人	36人	15.3%	49人	8人	16.3%
選 挙 管 理 委 員 会	188	17	9.0	40	0	-
人 事 委 員 会	140	5	3.6	30	0	-
監 査 委 員 会	188	1	0.5	40	1	2.5
公 安 委 員 会	170	2	1.2	-	-	-
地 方 労 働 委 員 会	789	2	0.3	-	-	-
収 用 委 員 会	335	5	1.5	-	-	-
海区漁業調整委員会	925	0	-	-	-	-
内水面漁場管理委員会	476	5	1.1	-	-	-
農 業 委 員 会	-	-	-	1,017	3	0.3
固定資産評価審査委員会	-	-	-	99	4	4.0
合 計	3,446	73	2.1	1,275	16	1.3

法律に基づいて配置されている委員、相談員における婦人の選任状況

省 庁 名	委 員 名	総 数	うち女子	女子の 比 率	調査時点
最高裁判所	民 事 調 停 委 員	12,594人	1,887人	15.0%	62. 4. 1
	家 事 調 停 委 員	13,277	5,161	38.9	62. 4. 1
	司 法 委 員	5,423	530	9.8	62. 2. 1
	参 与 員	6,119	2,303	37.6	62. 2. 1
総 務 庁	行 政 相 談 委 員	4,566	624	13.7	62. 6. 1
法 務 省	人 権 擁 護 委 員	11,439	1,635	14.3	62. 4.30
	保 護 司	48,345	9,757	20.2	62. 1. 1
文 部 省	社 会 教 育 委 員	848	146	17.2	62. 6. 1
厚 生 省	民生委員・児童委員	161,053	65,470	40.7	62. 6. 1
	婦 人 相 談 員	518	469	90.5	61. 4. 1
	身体障害者相談員	9,674	792	8.2	62. 6. 1
	戦傷病者相談員	940	3	0.3	62. 6.25
	母 子 相 談 員	917	904	98.6	62. 6. 1

Fukuzawa Yukichi on Japanese Women

Selected Works

清岡暎一 編訳 藤原敬子 序文

慶應義塾大学名誉教授 横浜国立大学講師

福沢諭吉の著作は、単に主題の論議にとどまらず、その社会背景・時代変遷などにも言及しているため内容が生き生きとしており、広く読者を獲得している。本書は、「時事新報」に掲載された福沢の論説を中心に、日本の女性に関するものを年代順に集成し英訳するもので、小会1985年刊 Fukuzawa Yukichi on Education と併せ、福沢の思想を広く海外に伝える好著である。 270頁/4,500円

収録著作：かたわ娘、日本婦人論、日本婦人論・後編、品行論、男女交際論、離婚の原因、婚姻早晚論、福沢先生浮世談、横田ノブの犯罪について、女大学評論、新女大学

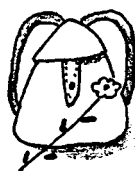


東京大学出版会

東京都文京区本郷 7-3-1 / 電話=(03)811-8814, 811-0964

フェミニストおよび未来のフェミニスト
および非フェミニストのための
たのしいたのしいマンガ・映画・小説リスト

後藤 晶子



特集三十三号に「メッセージ性はあるけど楽しいもの」マンガ・映画・小説などの紹介もやってみたいと書いたところ、さっそく問い合わせのお手紙をいただきました。そこで作ったのがこのリストです。このリストには、いろいろな種類のものが入っています。小説のテーマ自体が女性問題を意識したもの。テーマは違いますが、物語の舞台になっている社会がその社会にはどんな女性問題が存在するのかということ強く考えさせるもの。あるいは男の本音があつまり出ていて苦笑いしてしまうもの。編者の主観で作ったので、期待はずれの

ものもあるかもしれませんが、その点はお許しください。

* マンガ

* 思わず考えてしまうもの

「安穩族」 石坂啓 集英社 今のとってもヘンな世の中を、改めて「あ、これはヘンだ」と気付かせてくれる本。女性問題にとどまらず、老人・戦争など、いろいろな社会問題をかいている。

「星に住む人々」 樹村みのり 秋田書店 この作品に限らず、樹村みのりのかくものはどれも温かく人をみつめ、けれど厳しく現実をつかむ。おすすめのマングア。

「The Morn's Eyes...子宮の目」 伊東愛子 新書館 レイプされて子供ができてしまった...という話。この人もいいマンガをかいている。今から十二年も前に、妻の座を抜けたして飛行機の操縦士になる女性を「バラ色のターン」という作品で少女マンガとしてかいていた。他の作品も読む価値あり。

「ラストダンス」 「夏は来ぬ」 近藤よう子 日本文芸社

「幻想の普通少女」 双葉社 「MENS」 「シーラカンス・ロマンス」 実業の日本社 内田春菊 いったん男の目でみる。そんな感じの楽しみかたで読む。「シーラカンス」は処女喪失物語。

「陽の末裔」 市川ジュン 集英社 明治、大正、昭和を生きた二人の女性を描いている。二人とも、元は女工。一人

は美貌と才能と幸運に恵まれたおかげで華族の養女となり、養父なきあとも財産を受け継いで上流社会で自由に自分を押し通して生きていく。結婚しても夫に縛られず（というより夫を無視して）、奔放な恋もする。「身分や財産は私の価値ではありません。私自身が価値です」「私は欲しいものは自分で取るのよ」と言う彼女はごうまんではあるが、小気味のよさも感じる。もう一人は雑誌記者となり、労働運動・女性解放運動にかかわりつつある。彼女には共感、がんばって！と応援しちゃう。一時は運動家の妻となるが、彼ら活動家が社会の解放をめざしながらも、なんの疑問も抱かずに遊郭に行く姿もちゃんととらえている。伊藤野枝なんかもちらっと顔を出したりして、これからが楽しみなマンガです。

『女帝エカテリーナ』 池田理代子 中央公論社 ロシア女帝の一生を描いたもの。勉強家だった少女時代、帝位につくまで、女帝になってからの彼女の政治、死ぬまでを、とうとうと。この人も才能を持ち、それ以上の意思と努力で生涯を生ききった大きな女性だった。

『しんきらり』『しあわせつぶて』『性悪猫』 山田紫 青林堂 この人は性別役割分業を肯定しています。「しんきらり」は主婦の日常をかいたもので、結婚した人に言わせるとあんなもん、ということだが、結婚していない人だと、ヘエこんなもんか、とけっこうおもしろく読めるかもしれない。「しあわせ……」は共働きだけど、やっぱり「オイ、お茶」の

世界。結婚って、こういうものなんですわねえ。

『花咲く乙女たちのキンピラゴボウ』 橋本治 北栄社 少女マンガ評論。少女マンガをよみとくことで、今の女の状況がわかるかも？という本。かなり古い本なので、テキスト自体手に入りにくくなっているかもしれない。わりと読まれていたようなので、文庫化されている可能性あり。

……coffee break……

なぜ少女マンガには、レズビアン物語がでないんだろう？ゲイ（ホモとはホームセクシュアルの略で、正しくは同性愛の意。男の同性愛者がゲイ）の話はけっこうある。まあ、少しはある。が、レズの話は皆無じゃないだろうか。なぜだろう？ゲイなら男の子の話、自分とは関係ないファッションとしてよめるけど、レズの話は生々しすぎるのかな。それとも女の子たちは、レズにリアリティを感じないんだろうか。おなじく同性愛とはいえ、少女マンガの世界ではまだレズビアンは少数者だ。

『風と木の詩』（竹宮恵子 小学館）は、ゲイを扱った最初期のマンガだろう。十代の少年たちの話だけど、あれは完全に古い型のゲイだなんて感じ。ジルという子が女の子役で、セルジュという子が男の子。二人の（そして周囲との）心理的な葛藤がつづられるのですが、どうもコチャコチャとしていて「箱庭」という言葉がびったり。すっきりと生きていな

くて、妙に深刻ぶったりして。ゲイの人に言ったら、あの繊細さが女にわかるかと言われてしまった。設定が十九世紀か二十世紀初めのフランスだから、無理ないともいえるけど。

ところがついこの間読んだ「眠れる森の美男」（秋里和国）は違ったね。舞台は今のニューヨーク。友井くんは医学部を卒業後、ニューヨークの病院でレジデントとして働きます。自分があこがれていた上司に誘われて一緒に暮らしはじめるが……という話。こっちの方は、男役割も女役割も消滅しちゃって二人でいいように暮らしてゐるって感じ。いさかいいもあるけどはじめしていいなし、ずっとこのびのびと人生を生きている。上司の子供と「日本人にもゲイがいるんだね」という会話をかわしたりする場面もあって、なかなか楽しい一編です。TOMOIくんシリーズは、私は好きだ。

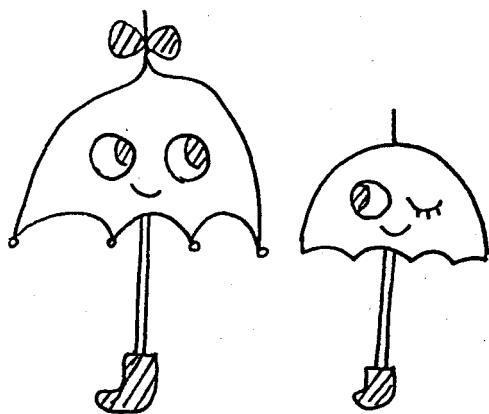
レズを扱ったのは、少女マンガでは私の知る限りただ一編。有吉京子の「アップローズー喝采」集英社 だけ。これもはつきりしないマンガだった。最近レディス・コミックでけっこうかかれています。このあいだはバイセクシュアルの女の子が主人公のもあった。内容的にはどれもいまいち。

＊小説・エッセイ・詩

＊元氣を出したい時に読む元氣な女たちの本

「フェミニニア 女だけのユートピア」 シャーロット・P・ギルマン 現代書館 フェミニスト文学の傑作！ 今から

七十年以上前に書かれた本ですが、かわらず新鮮。二千年にわたって女だけしかない国がある。そこでは男がいなために、誰もが生まれた時から「人間」として自分の個性・能力を伸ばすように育てられる。そこへ三人の異なった女性観を持つ男性が入りこんで……。子供から大人まで、楽しんで読める本。語られている国が、明るく未来へむかってひらかれているから。この点、後で紹介するJ・ティプトリー・Jrは同じく女だけの世界を描いても、けっこう暗い印象を与える。「ウホツホ探検隊」「ゆっくり東京女子マラソン」 干刈あがた 福武文庫 迷いながらもせいっぱい、生活していく女たちの物語。離婚した母と子。PTA。母親たちの連帯。



働く母親。良かれ悪しかれ、生活する・生物として生きることに一番近いところにいる主婦たちの力強さを感じさせる。作者自身も離婚している人で、これらの作品もその経験から生みだされたややエッセイ風ともいえる仕上がり。小説家としては、これから期待。

「ブルースだったのだの唄 黒人女性のマニフェスト」 藤本和子 朝日新聞社 黒人女性からの聞き書き。黒人であること、女性であることという二重の差別をうけてきた彼女たちは、しかし今は誇りをもって自分を語る。人種差別が主として語られているのだが、どちらでもいいわけではない差別であるという点で女性差別と共通していて、その共通点から差別の性質が見えてくる。「教育を受け 尊らしが上向きになり



社会的地位も安定して わたしたちの苦難が始まる。なぜなら 黒人らしさを すてたら いのちがあぶないのだから」女らしさという言葉をここに入れるのは危険だが、「黒人である自分を受け入れ積極的に生きる」という意味にとり「女である自分を生きる」とは言えると思う。

「続あしながおじさん」 ウェブスター 新潮文庫 「あしながおじさん」は、ジュディの学生生活を生き生きと描いていて楽しいけれど、結局彼女は理想的な結婚をしてしまう。ところがこのサリーは孤児院の院長として働く中、同僚の医師と結婚し、おそらくはそのまま働き続ける。孤児院の子供たちが楽しいし、なによりサリーの行動力に拍手！この本も一九一五年に出版されたもの。女たちの歴史を感じる。

「ママハハ物語」 宮迫千鶴 思潮社 著者はイラストレーター。長いこと、三角関係、不倫の女！をやってきたが、妻が死んだか別れたかで、一緒に暮らすことになる。主義として籍は入れずに。妻は子供をつれてずっと別居していたのだが、その間も夫と著者は養育費をだし続けてきた。そういう三人が暮らし始めたらどうなるか。学校では変わり者の子供が「もう少し常識的なれ！」と父親とママハハに叫ぶ家庭ができあがる。母親としてでなく、ママハハとして子供に対していく著者がそう快。家族って？戸籍って？そんなことも頭をかすめる楽しい本。

「単独家庭の呪い 亭主おらずとも子は笑う」 下田治美

情報センター しょうがない亭主と別れてのちの単親家庭。

暮らしも厳しい中、むりしていい母親になる必要がどこにある？親も子供もおんなじ人間というはるさんも、これは痛快人間。それにしても、子どもってのは実に自分勝手でたくましく、またいじらしいもんですね。ガハハと笑える。

「ポストファミリー」[その他の関係] 桜井陽子 汐文社

目次より。(端のお節介にもメゲず、夫の子連れ赴任と妻の単身居残り、始まる)という家族の話。この人、一度専業主婦を経験していて、パートに始まりようやくフリーライターとして事務所をもてるようになったとこ。結婚前後の話から家事をめぐる夫との苦闘、別居、子供が(こんどはお母さんと暮らしたい)と戻ってきて、別居したままのペーパー離婚まで。「その他の関係」とは、このペーパー離婚によって夫の籍に入った、現在同居中の娘との戸籍上の関係のこと。こんな家族、やってみたい！

「茨木のり子詩集」 思潮社 「現代の詩人7 茨木のり子」

中央公論社 「怒るとき許すとき」という詩より。「…女たちは長く長く許してきた／あまりに長く許してきたので／どこの国の女たちも鉛の兵隊しか／生めなくなったのではないか？／このあたりでひとつ／男の鼻っばしらをポインと殴り／アマゾンの焚火でも囲むべきではないか？／女のひとのやさしさは／長く世界の潤滑油であったけれど／それがなにを生んできたというのだろう？／…」 「女の子のマーチ」よ

り。「…パン屋のおじさんが叫んでた／強くなった女と靴下女と靴下ア／パンかかえ奥さんたちが笑ってた／あったりまえ それにはその理由／ワケがあるのよ／あたしも強くなるうっと！／あしたはどの子を泣かせてやるうか」

「大地の子エイラ」 ジーン・アウル 評論社 クロマニヨン人の子エイラは地震で一族を失い、ネアンデルタール人の一族に拾われる。ネアンデルタール人は厳しい性別役割分業をもとに暮らしており、エイラもまじない女のもとで育っていく。しかし彼女は一族の者とは骨格も頭脳も違い、それを生かして女には禁じられた狩りを練習し、自力で生きる力を身につけていく。自分とは違う者たちの間で自分を育て、いっしょに自分の価値を認めさせていく強さがすばらしい。六部作ということで、いま「恋をするエイラ」「狩りをするエイラ」まででている。

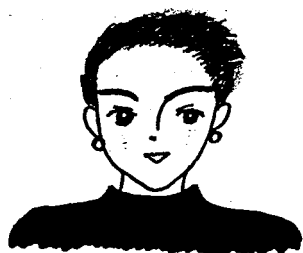
「残像」「へびつかい座ホットライン」 ジョン・ヴァーリイ ハヤカワ文庫SF この世界の人々は、自由に性転換を繰り返かえしている。それどころか中性になることすらある。産児制限があり、「一人の人間に一人の子」が徹底している。ここでは女性差別は無意味だ。彼等は真に調和している。短編集「残像」の中の「火星の王たちの館にて」に出てくるメアリ・ラングとクロウフォードのカップルが私は一番好きだ。「ムーンスター・オデッセイ」 デイビット・ジェロルド サンリオSF文庫 この星の人々は自分の性別を自分で決め

る。思春期になると男女両性の未分化な性器ができてきて、同じ時期の子供たちどうしでセックスし、両性の性経験を積む。ある期間が過ぎた後に、彼らは一方の性を選ぶ。ジョウブという子が生まれてから自分の選択をするまでの物語。残念ながら作者は女性問題をまったく念頭においていないので、性の選択は人生の選択のうちでもっともだいたいのものとされているが、抽象的なレベルにとどまっている。とはいえ、非選択（性の選択期間が全くなく、中性のまま成人した人）のソラとの会話など、自分の選択にもとづき自分で生きる力を感ぜさせる。

＊ちよっと読むのにエネルギーがいるけど

力になるだろう本

「私の前にある鍋とお釜と燃える火と」 ユリイカ 「表札など」 「略歴」 思潮社 「現代の詩人5 石垣りん」 中央公論社 石垣りん 戦前からずっと、銀行づとめをし、五十五歳で定年退職。このひとの詩には、事実を見る目の確かさと事実を忘れない厳しさが、それらにもついた力強さがある。「表札など」より「母の顔」。「家は古い／死んだ母親が住んでいる。／／どの新しいと呼ばれる家庭にも／母親がひとり。／／働き者で／料理好きで／掃除好きで／洗濯好きで。／／若い妻がシチューをつくるそばで／赤ん坊の指を伸ばしたりしている／死んだ母親。／／私は見た。／廊下を拭くため／人間のハラワタをしぼっているのを。／／少年の



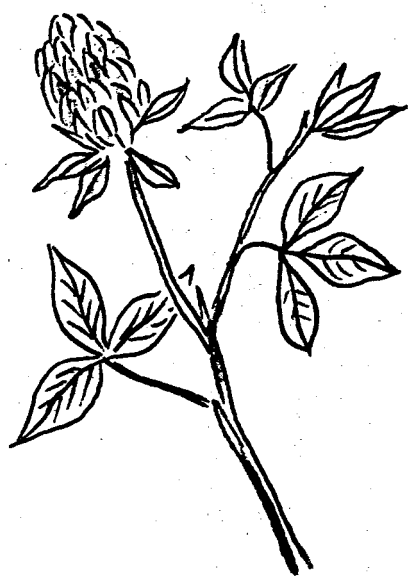
肌は／死んだ母親が洗っている間に黄ばんでくる。／／うっかりしていると／みんな片付けられて／その辺がせいせいしている。／／やさしく、残酷な／生きている母たちの本当の母親。／死んだ母親。／／家はどこもたいそう古い。

「所有せざる人々」 早川書房 「闇の左手」 「風の十二方位」 ハヤカワ文庫SF 「コンパス・ローズ」 サンリオSF文庫 アーシュラ・ル・グイン この人の作品には女性問題をテーマとしてとりあげたものはない。が、舞台となる社会が特殊で、女性はその社会でどう生きるのかを考えさせられるものもある。「所有……」が一番いい。自然条件が厳しくて、誰も社会が必要としている仕事を分担しすべてのもの

を分けあわなくてはならない社会（題名の所有せざる：はこからきている）。名前にも男女差別はなく、コンピュータによって無作為に選ばれる。残念ながら主人公が男性で、出てくる女性にはそれほど生き生きとして強い印象を与える人がいない。「闇の…」は両性具有体の星ゲセン。彼女らは生殖期間に入ると男性または女性に変化し、性交して子を生む。どちらに変化するかはそのたびごとに決まり、一人がある子の父親であり、同時に他の子の母親でもあることもある。これも地球人の男性が主人公で、対するゲセン人エストラーベンの代名詞として「彼」が使われているために、いまひとつ設定に必然性がなく、設定を生かしきっていないという不満が残る。

「女の千年王国」 ヴァージニア・キッド編 サンリオSF文庫 六人の女性SF作家によるアンソロジー。シンシア・フェリス、ダイアナ・L・バクソン、エリザベス・Aリン、チェリー・ワイルダー、ジョーン・D・ヴィンジ、アーシュラ・ル・グウィン。バクソンの「ヌサルディール」の歌」は、性が五つある生命体の話。主人公の社会も家族形成はわたしたちの社会と違い、メンバーの意思で大家族がつくられ、出入り自由。もらい子、同じ年代の同性が家族を組むことも一般的のようだ。が、これもほりさがいまいと私は思う。リンの「ジュビリーの物語」が一番好き。sisterhood—姉妹愛と女のたくましさを感じる。

「老いたる霊長類の星への賛歌」サンリオSF文庫 「愛はさだめ、さだめは死」ハヤカワSF文庫 J・ティプトリー・ジュニア この人の本名はアリス・シュルドン、女性である。長くこの人は男性だと思われていて、「ティプトリーは女性ではないかと推測される向きがあるが、わたしはその説はばかっていると思う。ティプトリーのスタイルにはどうしても男性としか思えないなにかが感じられる」と言わしめたひとである。二冊の本の序文がこの事情をよく語っている。「老いたる…」の中の「ヒューストン、ヒューストン、聞こえるか？」は、男たちが全滅し女たちだけになった地球に、宇宙旅行に出ていて難をまぬかれ何も知らずに地球に帰ってきた三人の男の物語。「フェミニジア」と似た設定だが、これらはもっと男にしんらつだ。男は征服を試み、結局宇宙に隔離される。この作品に限らずティプトリーの世界観は暗いので、読むとちよつと疲れてしまう。「男たちの知らない女」は、「女はただ生き残ろうとしているだけ。男の作った世界というマシンの隙間で、一人二人とばらばらに生きているの」と言う女たちの物語。これも男に厳しく、女たちは地球の男をあっさり見切つて、正体もわからないのつべらぼうの宇宙人についていってしまう。彼女たちは希望を持って旅立つわけではない。どこにしようと同じ、ただもうこの世界にはうんざりした、まだ知らない世界のほうがいいという、それだけ。



「フイーメール・マン」 ジョアナ・ラス サンリオSF文庫 難解。というより、小説ではなく断片のよせあつめと考えるといいかもしれない。多元宇宙のそれぞれの世界の女性が四人。女性だけの星。男性と女性が戦争をしている宇宙。そして私たちの社会。この四人は全く同じ遺伝子を持っているため、同じ状況で成長したなら全く同じクローンが四人できたことになっただろう。しかし、彼女たちは肉体的にも精神的に全く違う個人となった。この四人がいろいろな状況下で、くりかえし出会う。それがエピソードとして脈絡なく語り続けられる。彼女たちは幸せそうには見えない。が、緊張し不安のまま、自分と周囲との両立に対して闘っている彼女たちに、なぜか心をひかれる。

「アランの舞人」 エタザベス・A・リン ハヤカワFT文庫 このリストをつくっている最中に読んだ本。「アラン史略」というシリーズものの二冊目。一冊目は「冬の狼」というが、あまりすすめる気にはならない。三冊目は「北の狼」。

一・二冊目は男性が物語の中心だが、「北の狼」は女性中心に書かれているそうです。チアリという舞人たちを描き、その一行に新たに加わった少年が成長していく過程を描いた物語。このチアリたちには性差別がないようです。女性はもちろん加わっているし、メンバーの中で役割に差があるわけではない。リーダーは男性ですが、日常生活の中での性別役割分担はなし。行動にも性差がなく、男も泣き、なぐさめ、支え、世話をする。作者はこの物語を「もし男たちが、お互いを大切にすることを、彼らがいま女たちからのみ得ることを期待している情緒的な支持と教育を互いに与えることを、修得しようというのであれば、…」と語っています。まさしくこれは男たちを描いた物語、が、彼らはいゆる「男」の役割を越えているのです。彼らはまた、愛しあうということにもやさしく、相手が男であっても女であっても同じように性を楽します。人間的でのびのびしている。登場する女性たちも生き生きしていて魅力的です。

「アリス・ウォーカー短編集」 アリス・ウォーカー 山口書店 「カラー・パープル」の著者の短編集。著者は黒人女性。

「伸子」 宮本百合子 今もなお、基本的な女の状況は変わっていないのではないかと思わせられる。伸子が成長していく物語。

*こんな男たちとつきあいたい! と思ってしまう男たちの本

「主夫と生活」 マイク・マグレディ 学陽書房 この本が出た当時は「家事も労働だ」「家族で(つまり男も)家事を分けあうやり方もあるんじゃないか」とちらほら思いはじめていた頃で、一般には「性別役割分業」「家事労働」という言葉はあまり聞かなかった。そんな時期に出た「専業主夫」のこの物語は、一筋の希望だったのでありました。この本にも子供が出てきて、初めは家事を全くやっていなかった子供たちがぶつぶつ言いながら自分の分担は自分でやるようになっていく過程がとても楽しい。夫も自ら言い出したこととはいえ、周囲の好奇の目、自分の中のこだわり、「主夫の生活」の疎外感など、大変だったよう。しかしその大変さを笑って読ませてくれるのだから嬉しい。もちろん妻の奮闘もちゃんと書かれています。とにかく一読を。特に元氣のない時にお勧めします。最後に新しい結婚契約を結ぶところなんか、最高!

「怪傑! ハウスハズバンド」 村上春樹 晶文社 私はこの本を読んでいないのでわかりませんが、読んだ人の話を聞くと、「主夫と生活」の日本版という感じ。

「看護婦のオヤジがんばる」「看護婦のオヤジ泣いて笑って」「看護婦のオヤジの青春」 藤田健次 あゆみ出版 著者は役場づとめをしながらマンガをかいている人で、もちろん看護婦さんの夫。看護婦はみかけよりずっと肉体的にきついし、精神的にもストレスの多い職業。しかも生活のリズムが一日ごとに違う不規則な仕事。子供をかかえていると、毎日働き続けることそのものがとても大変なのだろうと思う。そんな毎日、夫の目からマンガもまじえて温かく描いたもの。女性問題という視点はそれほど持っていない人なのだろうと思うが、相手に対して誠実である著者の生活は、生半可な理論よりよっぽど力になる。

「おとうさん、ごはんまだ?」 はしだのりひこ 教育史料出版会 この人、歌手。妻が病気で倒れて入院。次の日から育ちざかりのやんちゃな子供の面倒をみつづ暮らしていかなくゃならない。というお父さんの奮闘記。この本をもとに中山節夫監督が「風のアルペジオ」というのを撮っています。

「シングル・ライフー女と男の解放学」 海老坂武 中央公論社 自分のシングル生活をかえりみるところから始まり、シングルへの差別、シングルの悩み、家族観、男女観など語っている。深刻ぶらずあつさり書かれていて嫌味がないし、気軽に読める。シングルには心強く、結婚した人も家族・女と男の関係をどう考えるかなと、ちょっと違った角度からアプローチできる本。

＊映画！

＊元氣が出る！力がわく！

「赤ちゃんに乾杯！」 コリーム・セロー監督 フランス映画 私はこれを最高のフェミニスト映画だと言ってはばかりません！理由はとっても楽しいから。今までのフェミニストの映画はどれもかたかった。もちろんそれが悪いわけではないし、重たくなる十分な理由がある。でもいつもいつも考えることを強いられる映画ばかりではなく、心から明るく笑えてしかも共感できる映画を見たかった。「ドイツ・青ざめた母」「女ならやってみな！」「声なき叫び」なんかをそうたびたび見る気にはなれない。この点、「赤ちゃん」はいつでも何度でも見たい見たい！物語は三人のブレイボーイの生活に突然赤ちゃんが舞いこんできたところから始まる。三人が共同生活しているマンションのドアの前に、「ジャック、この子はマリー、私たちの子供です。…」という手紙と六か月の赤ん坊が置かれていたのだ。ところがジャックは国際線のスチュワード。ちようどその朝、香港へ旅立ったあと！あわてたピエールとミッシェルの二人は、ミルクとほ乳びん買いにいく。狼狽して店員に相談すると年齢と齒の数をきかれ、「年齢によってミルクの成分が違いますので…」と言われる。ここで、子供に接しなれている人ならだいたいの感じで年齢を言えるか、あるいは成分なんてたいして違わないし、違ってもたいした問題ではないと思えるのだろうか、ミッシ

エルはそうではない。齒の数を家に帰ってしまふのだ。ここで見ていた女性たちは思わず笑ってしまう。家で必死に赤ん坊をあやしていたピエールはこれ幸いとミッシェルをどなりつけて「僕が行く」と赤ん坊をおしつけて出ていく。ここでまた笑い。結局赤ちゃんを三人で育てていくことになるんだけど、男たちがとってもいい。最初はいやがり赤ん坊の生理的欲求を満たすだけでも必死。しょうがない、三人でそだてようと決めてからは一生懸命世話をして、ついには赤ん坊と一緒にいることを楽しむようになる。もうすっかりブレイボーイ生活とはおさらば。だってたまにパーティーを開いても、赤ちゃんが気になるし、泣きだしでもしようものならお客なんかそっちのけ。お客もしらけて帰ってしまうし、女の子を泊めても、まさにその最中に赤ちゃんがむずかりだしてしまう。もちろん、別の部屋に寝かせてあるし、他の二人もいるから気にしなくてもいいはずんだけど、結局気になってしまふし、赤ちゃんをめぐるライバル意識もあって（！）起き出してしまふ。三人で赤ちゃんを囲んでさやき声で子守り歌の合唱。それを見た女の子は即座に帰ってしまい、引き止めても後の祭。というぐあいに、最後には父性愛にめざめた三人。母親が赤ちゃんをひきとりに来ても全然嬉しくない。元の生活にもどってもどうも違う。赤ちゃんを育てるという経験が、三人をすっかり変えてしまった。そして…と終わりは見てのお楽しみ。父性愛というものは

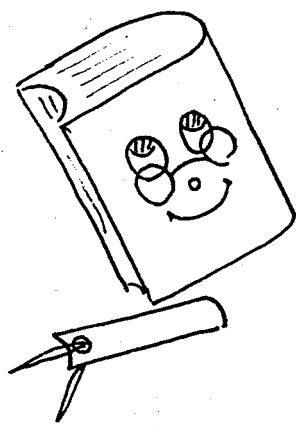
(当然母性も)、子供を育てて子供と接する中でできてくるものなんだということ、男も子育てできるんだということ、子育ては大変には違いないがとっても楽しくもあるんだということなんかが、素直に伝わってくる。男も育児をしよう！と呼びかけている。でもこのメッセージ、鈍い人には全然伝わらないだろうという声もあった。残念ながら、そうかもねでもこの映画、とにかく誘いあって見てほしい。パートナーと、男女を問わず友人と、仲間と、子供と。たまたま一緒に見る人がいなくても、とりあえず見てしまおう。思えば、このリストをつくるきっかけもこの映画を見ての投書でありました。

「トッツィー」ダスティン・ホフマン監督主演 アメリカ

映画 これも楽しい！正義感と自分の演劇観に忠実なあまり、あちこちで事件を起こしてしまい、才はあっても売れない俳優が主人公。もうだれもおまえを雇わない、とマネージャーに宣言された彼は、かねてからやりたかった劇を上演する費用を捻出しようと、ドロシーという女性になりテレビのオーディションを受けにゆく。オーディションに受かった彼女は演技のなかでセリフをどんどん変えてしまう。病院ドラマなのだが、酒乱の夫に半殺しにされて入院した患者にいう「あなたもうすこし反省して、あなたにも悪いところがあるはず……」という調子のセリフを「あなたを大事にしないそんな夫とは別れなさい！」とやってしまう。院長とキスするはず

のシーンでは、ノートで院長の頭をたたいて難を逃れるし、看護婦も院長から守ってあげる。(確かそんなシーンがあったと思っただけど、もし違ったらごめんなさい) 積極的にちゃんと自分を主張する、すてきなおばさん事務長の役柄をつくりあげてしまう。これが当たり。一時的な契約のはずが、マネージャーが勝手に延長してしまい、続けると、「ちゃんとドロシーと呼んで」とピシリ。そんな彼女に新人女優も影響され、演技でも実生活でもしだいに自分の意思をはっきりさせるようになる。二人はよい友人になるが、ドロシーは彼女に恋してしまっただけで打ち明けられない苦しさのほかに、男としての彼にはすでに恋人がいてその恋人を裏切ることになった苦しみも……。最後はハッピーエンドなのですが、そこまでの彼の矛盾が楽しい。新人女優は(ジェシカ・ラングがやってる)あのプロデューサーとつきあっていて子供までいるが、彼は浮気で別れたいと思っている。が、なかなかふんぎりもつかないし、彼は別れたがらない。ドロシーは彼の浮気の現場を見たことがあり、二人きりになった時に彼女に対して誠実になれと言う。その時のプロデューサーの言い訳が、自分が仲間に恋人のことを問いつめられた時の言い訳とそっくり同じ。あの時に、ドロシーは自分の矛盾に気づいたんじゃないかな。実生活と、ドラマの役のおばさんと、二重にドロシーのキャラクターが楽しめる。これも文句なく楽しい映画。

「喝采のかけで—Author! Author!」 アル・パチーノ主演
アメリカ映画 手元にパンフレットがないので監督がわかり
ません。ごめんなさい。こちら是最初っから子供が大好きな
脚本家のお話。彼の妻はちょっと変わった人で、相手がどん
な人であろうと一人の人と長く結婚生活を続けられない離婚
常習者。アル(役の名を忘れてしまいました)と結婚した時
は、確か三人の夫との間にできた四人の子を連れていた。こ
の映画でただ一つ不満だったのは妻のこの設定。でもこうい
う設定でもなければ、物語自体無理だったろうし、ま、しか
たないか。アルには自分の子供がひとり。この子は子供たち
のうちに一番年長で大人びていて、しっかり家族に気配りで
きる子。他の子も、実の母親より子供好きでおちよこちよ
いで陽気な父親がお気に入り。がちゃがちゃ楽しく暮らして
いたのに、ついに母親のビョーキが出た!離婚したいと言
い出して、相手の男の所に言ってしまう。それからのアルとき
たら、脚本なんてさっぱり進まないし、劇の稽古を見てもと
んちんかんなことばかりする大ボケぶり。子供たちもそれぞ
れの父親に引き取られていて、ますます元気をなくしてし
まう。が、結局子供たちは、やっぱりアルがいい!と実の父
親のところを逃げだし、一人また一人と帰ってくる。アルは
元氣百倍、妻を連れもどしに行くが、こっちはダメ。そうし
た中でやっと彼が書き上げた劇の初演の日、一家は総出で夜
中に出る新聞の劇評を待つ。大好評だ!ばんさい!お祝パ!



ティだ!というところで終わり。アル・パチーノといったら
ギャング役をよくやっていた人のようですが、この映画の中
では根っから子供好きなパパ、ダディって感じ。子供との絡
みが楽しい。生みの親より育ての親とはよく言ったもんだ
(これは母親のことを言っているのかしら?)。女性問題と
か男も育児をということを意識してつくられた映画ではない
と思うが、男が子供とかかわっていると、親であるとい
うことは血がつながっているかどうかだけではなくて、子供
とどれだけつきあっているかも大事だということがわかると
ころ、楽しくて笑えるっていうところが!が気にいっていてお
勧めしたい映画の一編です。

ここまでが私のベスト3なんですが、どれも元氣になれま
す。でも、どれも男を描いた映画だなあ。なぜだろう。いい
女は実生活でけっこう知っているけど、こんな男たちはとっ
ても少ない、そのせいかなあ。

「エミタイ」 ウスマン・センベーン（またはセンベーン・ウスマン）監督 セネガル映画 セネガルはフランスの植民地だった西アフリカの国。第二次世界大戦下、米を供出せようとするフランス軍に抵抗する一つの村を描いたもの。きつとこのアフリカの女たちに感動する。彼女たちは米を出すまでの人質として狩りだされ、広場に集められる。食べ物も許されず、水は村の男の子が運んできたのを回し飲み。「けれど私たちは負けない。私たちはあんたたちの言いなりにならない。私たちはあんたたちの奴隷じゃない。私たちの夫たちや息子たちは知っている。いつも女たちが後ろで見守っている」と。私たちはあんたたちに負けない」と歌う。男たちはこの間、やりでたちむかったり神がみに祈りをささげたりしているが、ついに米を出す決定をしてしまう。ここがとっても対称的。女たちは行動しないようにみえるが、決して服従しない。ある事件をきっかけに女たちは広場から逃げ出して抵抗の歌を歌い続ける。風にのったその歌声を聴いた男たちは、米を運ぶのを即座にやめる。結末は悲劇だが、アフリカの女たちのたくましさにより力づけられる思いがする。

「華麗なる女銀行家」 フランシス・ジロー監督 ロミール・シュナイダー主演 ここに挙げるのは不適切かもしれないが、あえて。というのも主人公のエンマ・エケールが、お金のためならきわどいこともやるし、政治家と結託するし、妻のある男と公然とつきあうし、わがままでごうまんともとれるの

だ。それをただのごうまんでなくしているのは、彼女の強い意思だ。自分をつぶそうとする権力者との闘いを、彼女は絶対に放棄しようとしないう。その意思と魅力ゆえに、愛人の妻も彼女にひかれ協力するようになる。それまで銀行は上流階級しか相手にしてこなかったが、彼女は銀行を設立すると庶民の小口預金を集め、それを手元に女人禁制だった証券取引にのりだし、預金者に八%という高額の子を約束し、財界に衝撃を与える。当然、上流階級・権力者の標的にされ、逮捕、窓口閉鎖、スキヤンダルの暴露に見舞われる。彼女はハンストで対抗し、衰弱きった体で病院に転送された。すきをつけて脱走、逃亡。預金者への支払いを認めさせる裁判を起こしたりする活動を開始する。ところが偶然の交通事故で重傷を負い、再度逮捕されてしまう。彼女はなおも自力で抜



けだそうとするが、結局友人たちの政治的圧力のおかげで釈放される。いろいろあったのち、彼女の勝利宣言とも言えるエケール銀行フラン防衛委員会の演説の最中に、彼女は狙撃され、死ぬ。しかし、彼女が自分の意思にしがみつき、それを貫きとおして勝利したところが重要なので、この結末は一概に悲劇だとも言えない気がする。この映画には実在したモデルがいる。マルト・アノーという、一八八五—一九三五に生きた人がいて、かなり忠実にその人の生涯を描いたものようです。

「オフィシャル・ストーリー」 ルイス・ブエソン監督 アルゼンチン映画 戒厳令下のアルゼンチンの行方不明者を扱った作品。主人公は歴史の教師をしている女性。彼女には子どもがいる。自分の子として育てているが、夫が家に連れてきた子で自分が産んだ子ではない。夫はなにも言わない。いままで疑問を持ったことがなかったが、亡命後帰ってきた友人の話をきいて、子供は逮捕された女から奪われた子で、もらわれたのではないのかと疑うようになる。気付いてみると、町では政治犯の行方不明者たちの家族のデモがあり、彼女が教えている生徒たちも現政府に批判的だ。彼女は知ろうとし始める。彼女が自分の生活の中のおかしさを追求するようになる過程がいい。疑問がしだいにふくらんでいき、答を知らずにはいられなくなった時、彼女はそれを追求すると同時に自分の生き方をかえりみる力を持つようになる。こ

の点が、権力側につくことをやめずにおそらくは破滅していく夫と対称的。軍政批判がテーマの映画ではあるが、一人の女性が成長していくドラマでもある。

「クレイマー・クレイマー」 ダスティン・ホフマン監督主演 アメリカ映画 原題は「クレイマー対クレイマー」。ひとりっこをめぐる夫婦の争いだ。Mrクレイマーは、出世街道まっしぐらのひと。彼には妻と息子が一人いる。妻は最近おかしい。帰ってから何かと話し合いをしたがる。すべてうまくいっているのに。でもそう思い、自分がよければ当然妻も幸せだと思っていたのはMrクレイマーだけだった。Msクレイマーは残念ながらそうは思っていなかった。それをMrクレイマーが知ったのは、彼が抜擢された日に、彼女が家を出ていったからだ。それから彼はなんとか仕事と育児を両立させようとするが、子どものケガ、病気、それだけでなくも子供の食事をつくり世話をするために勤務に支障をきたすようになる。彼は解雇され、その時妻が子供を引き取りたいといってきた。自分は子どもと暮らしたい。ついに裁判になってしまった…。Mrクレイマーは子供と二人で暮らすうちに変わっていく。彼はかつての妻をよりよく理解するようになった。子供という喜びも知った。生活技術も身につけた。おそらくは、Msクレイマーも、変わった。彼女はより安定し、自分の意思を相手に伝え、行動できるようになったのだらう。もちろん自分で稼ぐようにもなった。子どもを育てる父親を描い

たこと、自立しようとし成長していく男女を描いた映画。が、なぜか全体から受ける印象は暗く、矛盾の大きさを感じさせる。

「マルサの女1・2」伊丹十三監督 日本映画 日本にはなんだっていい女を撮る監督がいらないだろう。そんな不満が一気に解消。とまではいかないけど、この映画の主人公、板倉亮子サン、やってくれるしごとバリバリの女の人で、言葉なんか使わない。とんでもなくガンコで、これと狙ったらくらいについて離れないし、ときには暴走してしまう。唯一の欠点は、まじめすぎてちょっとユーモアに欠けるところかな。でも彼女は人情もわかるし、やさしいひと。それにとっても

かわいい、というか、あいきょうがあるのだ。といってもいいわゆる女としてのかわいらしさというんじゃ、全然ない。

「2」のなかで、りょーこさんが地下に資料をとりに行くシーン。誰もいない資料室の長い廊下をおりょーさんは、タリタリランと踊りながらいくのです。とってもかわいかったし、彼女が見近だった。こんな女を映画にしてくれたことに免じて、「おんなハンフリー・ボガード」とりょーこさんを形容したのは許してあげよう。伊丹さん。ちなみにこの監督さん、「主夫との生活」の訳者でもあります。

「風のアルペジオ」 中山節夫監督 日本映画 「おとうさん、ごはんまだ？」の映画化作品。

原発についてどれだけ知っていますか？

拠点だよりから

あいらさつぽろ

タカハシヨシエ

定刻になっても人が集まらず結局五名で例会をもった。資料として泊原発を止めるための「道民投票」の検討結果について、と「幌延問題を考える」神沼公三郎氏講演記録（旭川市民の会ニュースより）を用意した（残部あり。希望者、五

六三・六九一七、芳恵まで）が参加者はよく知っているようで、レポーターの解説はやめて原発に対する意見を出しあった。

・何となく、原発について知っているつもりだったけれど、

危機感を持ち出したのが、チェルノブイリ後、そして、ちょうど一年くらい前に、広瀬隆氏の講演を聞き、暗くなり、年末には甘蔗珠恵子さんの「まだ、まにあうのなら」を読んで一瞬、絶望的になった。今は、まだまにあっているように祈るような気持ち。

・あの本は、関心のない人に読んでもらうには手ごろな本だと思う。

・原発に不安をもっている人が約八六％、しかし不安であっても今後のエネルギーとして必要と思っている人が約六一％、この六一％を、よく知ることによって、原発は危険だからいらない。この地球上から原発をなくそう。という強固な原発反対派にするためには、知った人から、まだ知らない人に伝えていくしかない。

・Mさんは「原発初級講座」の言い出しっぺ。原発の恐しさを、人に伝えていくためにも、自分たちもよく知っておくために企画した。

不安な気持ちが次々に語られ、そして、行動に移ろうとしている。

昨年十二月二十一日以来、反核・反原発のネットワークづくりが進められている。二月十三日現在では、何ら具体化されていなかったが、二月十五日の五回目の集まりで、やっと動き始めた。①法的効力がなくても署名活動を実行する。これに先立って、原案をつめるチーム。②防災計画、安全協定

の不備について完璧なものがない以上、稼働させない、チーム。③ニュース発行チーム。…その他、食品中の放射能を測定していく、というグループもあった。

例会の最後に出力調整実験を二月十二日、全国からの反対の声を無視して強行した伊方原子力発電所、四国電力に抗議のハガキを、また、いち早く、伊方の実験を報道してくれた、南海日日新聞と、「まだ、まにあうのなら」を小冊子にして出版してくれた、地湧社に激励のハガキを、みんな書いて投函した。数日後Uさんあてに（Uさんにしかきていないのは何故か？文章が格調高かったのかな）お金をかけまくった、立派な資料が送られてきた。原子力発電がいかに安全で重要なものか安全性を図入り、絵入りで解説してあった。お金こそないけれど、私たちは、元氣印で頑張ろう、と話合った。今後ハガキ等、常備し、ハガキ作戦を展開していきたい。個々人が、今すぐにやれること。

1. 電気料金の銀行自動引き落としをやめる。一回一回、銀行の窓口で払う。払い込み用紙のウラに「原発による電気はいりません」とか「これ以上の環境汚染、環境破壊は人類のおごりです」とか書く。

2. 道庁へ行って、北海道地域防災計画をもらってくる（三F）。その際、不安な気持ちを伝える。

3. 従来から言われているが、新聞等へ抗議、激励の気持ちを伝える。

第四十回 婦人週間実施要綱

1 趣 旨

労働省では、我が国の女性が初めて参政権を行使した四月十日を記念して、この日に始まる一週間を「婦人週間」として、昭和二十四年以来婦人の地位向上のための活動を全国的に実施している。

特に、昭和五十年（一九七五年）の国際婦人年とこれに続く「国際婦人の十年」においては、男女の平等とあらゆる分野への男女双方の参加を進めるための啓発活動を展開してきた。また、この間民法及び国籍法の改正、男女雇用機会均等法の制定等婦人の地位向上のための法律や制度の整備が行われた。しかし、職場、家庭、地域において、婦人の地位が実際に向上していくためには、法律や制度が整っただけでは不十分であり、女性の能力についての社会通念や男女の固定的な役割分担を見直すための努力の継続が必要である。

本年は、西暦二〇〇〇年に向けて、真の男女平等を目指すため、男女の固定的な役割分担意識を見直すために各人が出来る努力を行うことを目標として第四十回婦人週間を実施する。

2 テーマ

女性の能力や役割についての固定的な考え方を見直そう
キャッチフレーズ

いま 個性が性を超える

3 期 間

昭和六十三年四月十日～十六日

4 主 唱

労働省

5 協力を依頼する機関、団体

関係官公庁、地方公共団体、婦人団体、青年団体、労働団体、経営者団体、社会福祉団体、職能団体、文化団体、報道機関、その他

6 主唱機関の行うこと

○ 本週間の趣旨に沿った諸活動の推進

○ 資料作成

○ 広報啓発活動

○ 関係機関・団体等への協力依頼事項

○ 本活動の趣旨に沿った各種活動の実施

○ 主唱機関の実施する諸活動への協力、参加

7 趣 旨

婦人週間四十周年記念全国会議開催要綱

労働省においては、昭和二十四年以来婦人の地位の向上

のための活動を実施してきているが、特に、昭和五十年の国際婦人年とこれに続く「国際婦人の十年」においては、男女の平等とあらゆる分野への男女双方の参加を進めるための啓発活動を行ってきた。

近年、婦人の地位向上のための法律や制度の整備が行われたが、職場、家庭、地域において、婦人の地位が実際に向上していくためには、法律や制度が整っただけでは不十分であり、女性の能力についての社会通念や男女の固定的な役割分担意識を見直すために今後も継続した努力が必要である。

このため、婦人週間四十周年を記念し、個人あるいは団体等が女性の能力や役割についての固定的な考え方を見直すための諸活動の成果を交換し今後に資することを目的として「婦人週間四〇周年記念全国会議」を開催する。

2 主 催

労働省

3 協 賛

財団法人 婦人少年協会

4 後 援

財団法人 日本国際連合協会

日本放送協会

社団法人 日本新聞協会

社団法人 日本民間放送連盟

5 テー マ

女性の能力や役割についての固定的な考え方を見直そう

6 開催期日

昭和六十三年五月十七日（火）

7 開催場所

東京・日比谷公会堂（全体会議）

日比谷公会堂 中央合同庁舎第五号館（フォーラム）

8 参 加 者

婦人団体、青年団体、労働団体、経営者団体、社会福祉団体、職能団体、文化団体、報道機関、関係官公庁、地方公共団体、その他の各界関係機関・団体及び個人

9 会議の構成

全 体 会 議

第三十三回国連婦人の地位委員会報告

公開座談会「婦人の地位 昨日、今日、明日」

フ ォ ー ラ ム

フォーラム1 「職場の中の性別役割意識について考える」

フォーラム2 「家庭・地域における性別役割を考

える」

フォーラム3 「仕事と育児を考える」

◆沖縄は暖かい時には、半袖Tシャツで過ごすほどの気候です。ハイビスカスと赤い桜が咲き、昨年4月に越してきた私にとって、再びのきびしい夏までの大事な時期と思い、できるだけ体を動かす毎日です。転勤族の妻である私は、こちらにも長くはないと思います。現在は、公民館の女性史講座、琉大での保育史聴講などしながら、沖縄の女性問題や保育状況を知るために自分なりにできることをしております。特に県外と異なる保育現場のありようを、私の見たたり聞いたり経験してきたものとそのちがいのなかから、

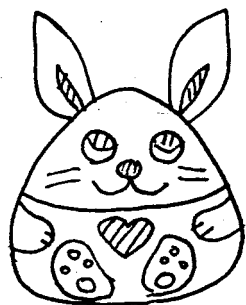
私たち女性の問題もよく見えるように思います。過去の沖縄の歴史をふまえ、頭がいっぱいになるほど、学ぶことが多いのですが。

(沖縄 大槻美沙子)

◆主婦の投稿誌「くすくす」も五周年記念として「つれづれなるままに」を発行しましたが、新聞に紹介されたこともあり多数お問い合わせをいただきました。会員も増えましたが、うれしいことに投

稿も多く届くようになりました。編集部の方の気が会員の人になんとなく伝わるものなんだなと思いました。そんなわけでこれからいっしょうけんめい取り組んでゆきたいと思っています。どうぞよろしくおねがいします。(三井やすえ)

◆〈あごろ〉が届いて何だかワクワクして封を切りました。今の賃労働に耐えかねている私の胸の奥に開放区を持てるのではないかしら。そんな期待——のとおりでした。けれど戸惑い。それは幼い頃からモヤモヤと自分の中の夢のようなものを、つかみきれない内に仕事、結婚、出産を経て過ごした長い時間でしょいか。「これだけは」というものをやっとなんで歩き出した32歳ですから、知識も力も言葉も足りないナと痛い所です。仕事の中にも我が胸をつついてブツブツと(これで良いのかしら。私の望めるものは何？子どもさえ育てられれば良いではないか。いえ、私が活き活きと暮らせなくてどうして子どもとの暮らしを保てようか。もう何もかも終わったのかしら。私の



シングルママの理想は……。この位の仕事に不満を持って私は何サマかしら。生命あればこそ……：自問、自問の時です。そんなことって誰にもあるのでしょうか。脱しきれない私は弱く幼いのでしょうか。愚問でしょうか。でも歩きはじめに戸惑いはつきものですよ。よろしくお願いします。

(太田市 三宅雅子)

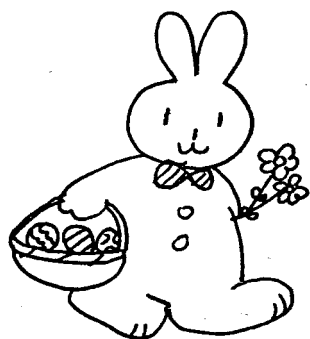
◆昨年山梨であごろを読んでいる方を紹介していただきました。六人のうち私をふくめて四人きていただき、これから定期的に会おうということになりました。どうもありがとうございます。だいぶきなくさい世の中になってきました。私

たちひとりひとり、本当にしつかりがんばっていかねければと思っています。

(甲府市 上野すみ子)

◆お元気で活躍のことと思います。私の方は、シカゴ行きをかなり迷ったのですが、自分の勉強(仕事のための)にもなると考え三月末に日本をたちました。しかし他国の地を踏むということは予想しなかったさまざまな収穫があり、夫の転勤に感謝しています。

シカゴにはコミュニティーカレッジや地域の企画したスクールがたくさんあり、時間を作り、参加すればそして努力すれば目指すものが習得できるようにになっています。それにとっても安いので、本当に誰でも通えるといった形です。内容も医療からコンピュータ、語学、ヨガ、その他さまざまな分野のものを含み、再就職への門戸は大きく開かれているといった印象を受けます。こういうものが、身近にあれば主婦たちはもっと大きく行動をおこせるのではないかと、うらやましくなります。



私も二か月半、週四日、一日二時間半の英語のクラスに通いましたが、教師はすばらしく、内容は文法、作文、聞きとりスピーキングと充実しており、日本では絶対受けられなかったと思われる、すばらしい教育を受けることができました。ただ、これを受けたからといってたちまち自分の英会話力がすばらしく上達した訳でも、即仕事に役立てることができた訳でもありませんが、これに続けて参加すれば(このクラス+他のものもそうですが)一は一学期毎に申し込むようになっていきます(かなり読み、書き、会話は上達するだろうと思います。そしてそれを自分の仕事として生かすこともできるだろう

と思うのです。単なる知識の詰め込みや、暇つぶしの自己満足ではなく、実戦力、いや実用できる力が養えるようです。

同じクラスで勉強していた日本人の中に、日本に帰ったら英語を教えたいと言っていた人がいました。彼女はきっと良い教師、実際に使える英語を教えることのできる教師になるだろうと思います。

私は英語の教師になる訳ではなく、目指す勉強を受けられる耳と会話力が欲しくて参加しているのですが、目指す方のクラスもかなりあります。私の目指すクラスの一つはコンピュータで、なぜかという、コンピュータ翻訳(コンピュータを使って翻訳するのではなくコンピュータ関係の資料を訳す)が私の本職、というより見習い程度だったのですが、しっかり力をつけて、本職の位置にまで持っていきたいと思っています。それともう一つ目指すものは環境科学で、これを以前から勉強したかったのですが、日本では容易に授業が受けられず、アメリカではきつと受けられると思っていたの

です。期待どおり、何となく興味を引き
そうなのがいつかあり、何が何でも
現地の言葉になれて、参加したいと思っ
ています。

同じコミュニティカレッジ (英語
はこのカレッジとは別の組織ですが)
に、女性運動の団体もあるとかで、近い
うちに少々のコミュニケーションが可能
になれば (本当になさけないのですが、
意思を通じ合えるには現在のところ英語
力が程遠い状態です) 行ってみたいと思
っています。

今、色の違う、人種の違うさまざまな
人たちのいる社会に生活していると、人
種の違いがほんの個性の違い程度にしか
感じられなくなってきました。大げさに
言うとな上の各人種皆友達みたいな気分
にもなります。日本にいと足の長い目
鼻のはっきりした白人、色の黒い黒人を
みると、彼等は外国人、我々とは完全に
異なった世界の人みたいな目でみてまし
たが、今、もちろん我々が「外国人」な
のでしょうが、人種のるつぼといわれる

アメリカに住んで、メキシコ人も、ポー
ランド人も、ドイツ人も、黒人も、アメ
リカ人も「皆友達」みたいな気分を実感
しています。

実は、今、日本の、しかも四国のわが
家まで帰ってきているのです。わが家が
なつかしくて、というのではなく、母の
看病に急ぎよ、飛んで帰ってきたわけな
のです。一月のはじめにはまたシカゴに
もどらなければならぬのですが、今は
のんびり古里の生活を楽しんでいます。
帰ってきて感じたのは、やはり、日本は
いそがしいということです。車も人を待
たない、譲らないということです。たっ
た九か月くらい離れていただけに、

車は人を待つて道をゆずってなどくれな
いものだというのをすっかりわすれ、あ
やうくはね飛ばされそうになりました。
車が先、人は次だったんですねー。ア
メリカは、その点弱者優先の風潮がある
ように思います。車は人が横断するのを
待つてくれるし、子どもがわたりそう
だなどみると、止まって待つてくれます。

また駐車場には必ず一番便利な所に障害
者専用の駐車場所が確保されています。
それと女性より先に入らない、出ない。
女性を弱者とみるところには少々難があ
ると言えないこともあります。が、「わ
しが先なんじゃ!」と言わんばかりに、
入っていく日本の中年以上の男たちに比
べると、ずっと紳士的というか、やさし
さを感じられます。

何かとりとめもなく私の感想を述べた
形になりましたが、読んでいただけたな
ら幸いです。

(米国シカゴ 重松伸子)



お知らせ

あこら可能性教室「自立の心理学」はこれまで五年間、自立の問題を私たちに深く学びました。しかし、現在、自立を学んでいくグループであるにもかかわらず、参加者のかかわりかたは、必ずしも自立的とはいえないことに気づいてきました。この段階までくると、自立はひとから教えてもらう形式は一度卒業し、個人個人の場に帰って、たしかめなおしてみることにしました。

このあたりで区切りをつけて、とりあえず半年休会します。活動のあり方までも自立的でありたいと願うようになったのは、この講座に参加してきた私たちの成長を物語っているかもしれせん。

次回は六月八日（水）を予定しています。

◆八十三年に方向転換し、簿記をはじめ、八十四年日商一級以後、税理士試験を受け、三回めの八十七年十二月に合格通知を受け取りました。やっと一息というところですよ。

（東京都 戸田明子）

◆三十五歳、仕事なし、三人の子どもたちに追いまわされています。少しずつ自分で考え、自分で決め行動しようと思っています。

（東京都 藤原篤子）

◆（一二四号、梁容子さんの罰金一円の輪）によせて：一円カンパのような運動を思いつくアタマと行動にびっくりします。

（呉市 倉田侃司）

◆さっそく月刊誌お送り下さいまして、ありがとうございます。三十四歳、地方公務員です。（あこら）で刺激を受けとめ、糧として生きる活力にしたいと思っています。

（東京都 黒沢恭子）

◆「切り抜き」を見て、今の暮らしと平行移動してしまおうでした。十八年前の情報の世界が今の地方に半分ぐらに残るのか追いつくのか、地方にとって

のこれからを予見するような気がしました。

なぜでしょう。これで二十年ぐらいのギャップが生じるし、社会観、家庭観の違いは良くも悪くもある。ちょうど十三年前に上京して暮らしはじめた時に感じた東京の人：割と家族、友人の結び付きを強く求めるのだということ、自分と自分の家族の立場、意見をよく知っていること：など。

田舎では深く考えず安心して育ってゆくのかな。いいえ何でも受け入れるけど、与え合うことは苦手なのでしょうか、Uターンして受容されずまた、せずに半年が過ぎました。

切り抜きのお手伝い、こういう仕事ですか？お知らせ下さいませ。

（島根県 三宅雅子）

◆「女性のライフサイクルと法」ミネルヴァ書房の中で、「あこら」の引用をみて、あらためて「あこら」を見直しております。

（下関市 藤井睦子）

◆新聞切り抜き集、なかなか大変な作業

各地の〈あこら〉連絡先

□あこら旭川

- ・旭川市緑ヶ丘5-4 須友子
- ・☎ 0166=65=5690 〒070-11

□あこら札幌

- ・札幌市西区琴似1条6丁目グランドハイッ琴似408号 細田英理子
- ・☎ 011=644=2927 〒063

□あこら仙台

- ・仙台市人來田1-8-11 三船照子
- ・☎ 0222=45=5994 〒982-02

□あこら柏

- ・千葉県印旛郡白井町大山口1-7-20桑原ちゑ子
- ・☎ 0474=91=4843 〒270-14

□あこら新宿

- ・新宿区新宿1-9-6 〈あこら事務局〉
- ・☎ 03=354=3941 (BOC) 〒160

□あこら京王

- ・世田谷区南烏山2-18-8 竹内全子
- ・☎ 03=307=3448 〒157

□あこら武蔵野

- ・三鷹市下連雀9-9-5-103 寺沢恵美子
- ・☎ 0422=44=2590 〒181

□あこら大阪

- ・吹田市岸部中1-29-4 藤井里子
- ・☎ 06=387=6574 〒564

□あこら阪神

- ・(準備中)神戸市兵庫区神田町10-12 久保和子
- ・☎ 078=361=0004 〒652

□あこら京都

- ・京都市左京区一乗寺築田町56-1 塚崎美和子
- ・☎ 075=791=4623 〒606

□あこら山口

- ・下関市竹崎町2-6-3-5-202 重兼久子
- ・☎ 0832=31=9710 〒750

□あこら鳥取

- ・鳥取市古海1147 高草団地9号 前田享子
- ・☎ 0857=23=3074 〒680

□あこら九州

- ・福岡市中央区笹丘2-4-6 小島サカエ
- ・☎ 092=521=7624 〒810

だったことと感心しております。私も定年までいよいよあと一年になりました。あれこれ思うこといっぱい毎日です。

◆四十三歳、会社員。何かしたいと思いつながら何もできないでいる自分自身を一步でも半歩でも前に進めさせたい。

(清水市 栗山満子)

◆切り抜き特集号のご出版おめでとうございませす。ただし座談会のページをまづ

繰って、思わず「あら！」と声が出てしまいました。私の肩書きが間違っております。読売の論説委員ではなく「編集委員」です。増刷などなるときは訂正していただければ幸いです。

(読売新聞 深尾凱子)

(編集部から：もうしわけありませんでした。深くお詫びします。増刷の頃には、きつと「論説委員」になっていらっしやるものと期待しています。)

◆編集後記◆

続々と会費を振り込んで下さる會員のみなさんありがとうございます。一月からあこらも年度が変わり、今年度第一回の運営会議が五月頃開かれる予定です。事務局前の新宿御苑の梅の花が今満開です。もう少しすると桜の花です。昼食のおべんとうもちで花見に行くのをみんなで楽しみにしています。